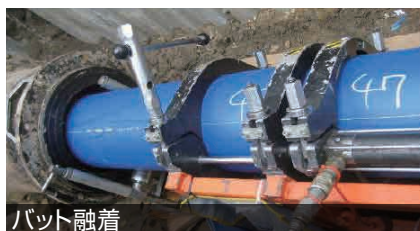


水道用耐震型 高性能ポリエチレン管 エスロハイパー

パイプインパイプ工法 (PIP工法)

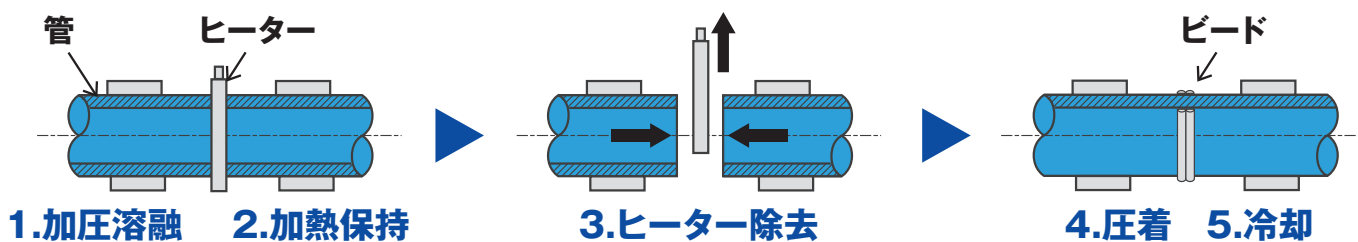
バット融着であれば「1サイズダウン」での更新が可能な場合あり!
軌道下、水管橋、国道県道横断など「開削による布設替えが困難」な
更新計画で威力を発揮! PE管(耐震管・長寿命)でリニューアル!



特長

- 1 軌道下の場合、**電食による管の腐食が無い**ため安心!
- 2 水管橋の場合、**軽量(比重1以下)なPE管**は支持金具に優しい。
- 3 多少のアーチや不陸による曲がりには**生曲げ性能**で対応!
- 4 **バット融着施工が可能な場合、1サイズダウン**で施工可能なケースあり!
- 5 内挿管は「融着一体化」した**耐震性に優れ、長期寿命が期待**できる。

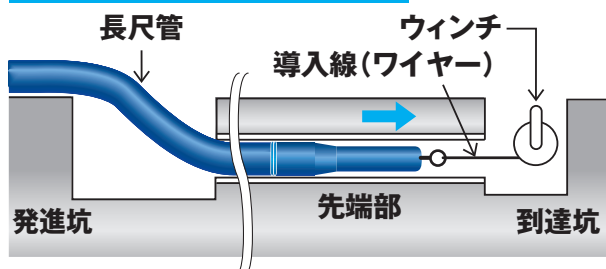
バット融着工程



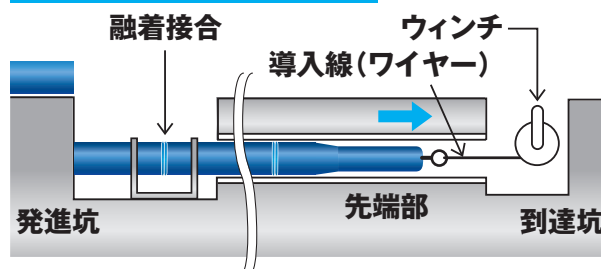
施工法

概要 バット融着した管を既設管内へ引き込みます。

融着接合した長尺管を引込む工法



融着と引き込みを繰り返す工法



⚠ 注意事項

・バット融着工法をご採用の場合、専門業者による責任施工を要します。
・「青ポリ管」での対応はφ300(外径355mm)までとなります。それ以上をご希望の場合は、お問い合わせください。